

第2回土曜AL(アクティブラーニング)を実施しました

今年度2回目の土曜ALを9月25日(土)に実施しました。今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒は自宅からのリモートでの受講となりました。

講演①「情報科学×材料科学 ～人工知能で「材料の個性」の原点を探る～」 (機能材料コンピューテーショナルデザイン研究センター)

材料インフォマティクスチーム 主任研究員 安藤 康伸 様)

本講演は、産業技術総合研究所の協力により行われ、希望者49名がオンラインで参加しました。安藤先生には人工知能について非常に分かりやすく講演をしていただき、また、これからの科学研究において必要とされる姿勢や、研究者としての生き方についてもお話いただきました。生徒は関心を持って聴けたようで、時間を超過して質問にもお答えいただきました。参加した生徒にとっては非常に有意義な時間でした。

生徒の感想

- ・非常に分かりやすい説明でした。AIとロボットが一番の違いは自分でパターンを見つけることができるかだと思います。そして、その研究も始まったばかりで、技術の開発は難しく、さらに、クリエイティブな思考には人間が不可欠なのだと実感しました。情報や機械の技術が発達していくなかで、創造的な思考ができる人間になりたいと思いました。
- ・私は将来都市問題を解決する仕事に就きたいと考えています。そのときに都市構造を変えるだけでなく、材料にも目を向けることで、さらによりよい都市を設計できると思いました。非常に参考になりました。

講演②「海外でのキャリア形成と 新型コロナウイルス治療の最前線」

(ニューヨーク市立エルムハースト病院 呼吸器集中治療内科 小畑 礼一郎 様)

本講演は、鎌田先生の大学時代の友人、ニューヨーク市立病院に勤める小畑先生を講師にお招きし、希望者39名がオンラインで参加しました。日本とアメリカで医師として働いた経験をもとに、医師としての働き方や、希望する科の決め方、医師を目指すために取り組んで欲しいことなどを熱心にお話いただきました。新型コロナウイルス感染者の対応をしている病院でのご経験もあり、生徒は緊張感をもちながら講演を聴いていたようでした。講演終了後は生徒からの質問が多く、時間を超えても丁寧に回答していただき、生徒にとって非常に有意義な時間となりました。

生徒の感想

- ・「将来の夢は鉛筆で描く」という言葉が最も印象に残りました。小畑先生は小児科希望から救命医になったり、海外で働くという未知の挑戦をしたり、自分も医師として貢献したいことを実現することが出来たら、と思いました。本日の講演を聞いて、医師を目指す志がより一層高くなったと感じました。
- ・海外で働くこのハードルを下げてくださいだったので、可能なら僕も大学などで留学に行きたいと思った。また大学についてもっと調べ、自分に合った大学を選んでいきたいと思いました。